

保護者等からの児童発達支援事業所評価(公表)

令和5年度

事業所名:WAKU-WAKU

保護者等数(児童数) 15

回収数 13

割合87%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	11	2	0		スペース的に難しいが外で体を動かせることができたら良い。	法令を遵守したスペースを確保しています。安全に配慮して体を動かせるように努めています。
	2	職員の配置数や専門性は適切である	11	2	0		職員の人数を知らない。	法令を遵守した人数を配置しています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	10	3	0			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	11	1	1		できれば換気がもう少しできると良い。	感染症対策など、快適に過ごせるように環境整備を都度確認していきます。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	13	0	0			
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	10	3	0			
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	13	0	0			
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	13	0	0			
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	5	5	3		土曜日のみの利用になったため。	交流が図れるように行事などの立案に努めています。
適切な 支援の 提供	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	12	1	0			
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	12	1	0			
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	8	4	1			
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	12	1	0		2か月に1回位、直接様子を見て、具体的に話を聞いてみたい。	利用時の見学は、日程調整を行い可能です。課題について、保護者の意向を聞きながら共有できるように努めます。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	10	2	1		基本的には、こちらからお断りしない面談はない。	定期的の実施できるように日程調整を見直し、面談機会を確保していきます。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	4	2	7			
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	11	2	0			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	12	0	1			
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	8	5	0			
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	12	1	0			
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	6	2	5		実施されているかもしれないがわからない。	法令に定められている訓練等を実施しています。安心して利用できるように、周知方法を検討します。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	6	3	4		火災発生時の避難経路は2箇所あるのかなと思いました。	消防法で定められた訓練の実施及び避難経路を確保しています。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	11	2	0			
	23	事業所の支援に満足している	12	0	0			

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

児童発達支援事業所における自己評価（公表）

令和5年度 事業所名:WAKU－WAKU

公表日:令和6年3月28日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	0	設置基準に基づき適切なスペースを確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか	6	0	安全に配慮して適切な職員数を配置している、
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	0	個々のスケジュールの掲示や活動ごとにスペースを区切り構造化に努めている。事業所が2階にあるため、完全なバリアフリーではないが、室内は安全配慮に努めている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6	0	感染症対策など、安全の快適に過ごせる環境になるように取り組んでいる。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	1	毎日もしくは定期的に業務に関する情報を共有して、適宜改善に取り組んでいる。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	1	集約した意見は職員と共有をして、業務改善を検討している。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	1	条例に基づき公表している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	4	第三者による外部評価は現在実施していない。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1	職務・経験年数に応じて必要な研修に参加できるように情報収集・提供を行っている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6	0	保護者と定期的な面談を行い、意向を確認して実際の状況を踏まえて作成に努めている。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	0	NCアセスメント・太田ステージを使用してアセスメントしている。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6	0	領域ごとの状態の把握に努め、具体的に必要な支援を検討できるように取り組んでいる。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6	0	支援計画の目的を共有できるように取り組んでいる。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	0	担当者を中心に全員で検討している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	定期的に活動内容を変更している。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	6	0	個々の状態に合わせて必要な活動を検討して作成している。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	0	前日に確認を行っている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	0	当日もしくは翌日に情報共有を行っている。

	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	具体的な内容を記録できるように努めている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	少なくとも6か月に1度は見直しを行っている。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	0	適宜参加している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5	1	必要に応じて関係機関と連携を図っています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	5	1	現在、医療的ケア児の利用がない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	5	1	現在、医療的ケア児の利用がない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	1	情報共有を図り支援内容を検討している。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	0	就学前など必要に応じて情報共有を図っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	1	必要に応じて連携が図れるように努めている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	5	現在は行えていないが、地域交流は必要なことと認識している。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	4	参加できていないが情報収集を行っている。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	連絡帳や送迎時などに共有を図っている。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	3	3	必要なことと認識している。今後前向きに検討していきたい。保護者面談を定期的に行っている。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	契約時に懇切丁寧な説明に努めている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6	0	支援内容の説明を行い、保護者の意向を確認しながら支援計画の作成同意に努めている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	面談を定期的に設けている。その他、適宜相談に対応している。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	3	今後、前向きに検討していきたいと考えている。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	可能な限り情報の整理や調整を行い迅速に対応できるように努めている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	2	ホームページ・SNSで情報発信を行っている。

	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6	0	個人情報の使用同意書に基づき取り扱っている。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	個人の状態に合わせて、合理的な配慮に努めている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	4	地域交流は必要なことと認識している。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6	0	法令に基づき必要なマニュアルを作成して、訓練を実施している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	0	法令に基づき定期的な訓練を実施している。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6	0	相談時など、利用開始前に確認をしている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	1	相談時など、利用開始前に確認をしている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	1	報告書を作成している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	1	虐待防止のための指針を作成して、委員会を設置している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5	1	身体拘束等の適正化の指針を作成している。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価(公表)

令和5年度

事業所名:WAKU-WAKU

保護者数(児童数)27 回収22 割合81%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	21	1	0			
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	21	1	0		職員の専門が何か知らない。	保育士、言語聴覚士を中心に配置をしています。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	7	3		可能な限りされていると思う。	構造化を図りながら安全配慮に努めます。
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	21	1	0			
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	22	0	0			
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	17	4			
保護者への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22	0	0			
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	21	1	0		活動中の写真や動画があれば見てみたい。	当日の様子をフィードバックする時間を設けています。個人情報保護に配慮して、必要に応じて写真や動画での説明も取り組んでいます。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	19	2	1		疑問や対応に悩んだ時に的確にアドバイスをいただけるので、心強いです。	保護者との情報共有に努めています。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	15	6			
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	17	5	0		職員間でコミュニケーションが取れているのか疑問が残る。	報告・連絡・相談の方法を見直して改善を図ります。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	20	0	1	1	カレンダー形式のスケジュールを出して欲しいという要望が配慮されない。	全体の状況を鑑みて要望を取り入れられるように努めています。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	16	6	0			
	14	個人情報に十分注意しているか	21	1	0			
非常時 等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	12	8	1	1		
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13	8	1			
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	18	4	0		毎日のようにお友達や先生の名前が出てきます。	楽しく利用ができるように、創意工夫をして継続できるように取り組んでいます。
	18	事業所の支援に満足しているか	20	2	0		・先生方の温かい支援の様子が伝わってきます。いつも本当にありがとうございます。 ・名前、年齢、基本的な部分の職員間で共有されているか疑問。	・今後も継続できるように取り組んでいます。 ・情報共有の方法を見直し、改善していきます。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価（公表）

令和 6 年度 事業所名:WAKU-WAKU

公表日:令和6年3月28日

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	0	設置基準に基づき適切なスペースを確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか	6	0	安全に配慮して適切な職員数を配置している、
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	0	個々のスケジュールの掲示や活動ごとにスペースを区切り構造化している。事業所が2階にあるため、完全なバリアフリーではないが、室内は安全配慮に努めている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	1	毎日もしくは定期的に業務に関する情報を共有して、適宜改善に取り組んでいる。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	1	集約した意見は職員と共有をして、業務改善を検討している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	1	条例に基づき公表している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	4	第三者による外部評価は現在実施していない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1	職務・経験年数に応じて必要な研修に参加できるように情報収集・提供を行っている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	保護者と定期的な面談を行い、意向を確認して実際の状況を踏まえて作成に努めている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	0	NCアセスメント・太田ステージを使用してアセスメントしている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	0	担当者を中心に全員で検討している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	定期的に活動内容を変更している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	0	支援時間に応じた課題を設定して支援するように取り組んでいる。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	個々の状態に合わせて必要な活動を検討して作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	0	前日に確認を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	0	当日もしくは翌日に情報共有を行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	具体的な内容を記録できるように努めている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	少なくとも6か月に1度は見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	領域ごとの課題の把握に努め支援を行っている。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	0	適宜参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6	0	保護者からの情報に注視してトラブルが発生しないように対応している。必要に応じて学校等に確認をする。

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5	1	現在、医療的ケア児の利用がない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	1	情報共有を図り支援内容を検討している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6	0	必要に応じて情報共有を図っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	1	必要に応じて連携が図れるように努めている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	5	現在は行えていないが、地域交流は必要なことと認識している。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	4	参加できていないが情報収集を行っている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	連絡帳や送迎時などに共有を図っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	3	必要なことと認識している。今後前向きに検討していきたい。保護者面談を定期的に行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	契約時に懇切丁寧な説明に努めている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	面談を定期的に設けている。その他、適宜相談に対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	3	今後、前向きに検討していきたいと考えている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	相談・苦情については、事実確認を行い迅速に対応するように取り組んでいる。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	2	ホームページ・SNSで情報発信を行っている。
	35	個人情報に十分注意しているか	6	0	個人情報の使用同意書に基づき取り扱っている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	個人の状態に合わせて、合理的な配慮に努めている。
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	4	地域交流は必要なことと認識している。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	0	法令に基づき必要なマニュアルを作成して、訓練を実施している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	0	法令に基づき定期的な訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	1	虐待防止のための指針を作成して、委員会を設置している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	1	身体拘束等の適正化の指針を作成している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	1	相談時など、利用開始前に確認をしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	1	報告書を作成している。